

**山本 かずや 議員**  
(一問一答方式)



- ①医療的ケア児への支援について
- ②長浜高校生徒応援事業費補助金について
- ③道路整備計画について

**医療的ケア児への支援について**

**問** 現在建築中の徳森認定こども園は、医療的ケア児の受け入れに対応した施設になると聞いているが、ソフト面を含めた具体的な整備内容について伺いたい。

**答** 本市では、医療的ケアを必要とする子どもたちが地域で安心して保育を受けられるよう、徳森認定こども園に専用の部屋を整備するとともに、常勤看護職員の配置を予定しており、関係機関との協議のうえで、適切な支援体制の構築を進めています。

併せて、保育士への研修の実施やマニュアル整備を行い、現場の不安解消とスキル向上など、医療的ケア児への対応力を高めるための準備を進めています。

ソフト面については、児童一人一人の医療的ニーズや発達の状況に応じた柔軟で具体的な対応を図るため、現在、行政・医療・福祉などの関係機関が連携して、受け入れ体制の指針となるガイドラインの策定作業を進めていますが、実施する医療的ケアとしては、経管栄養、たん吸引、導尿など、こども園で対応可能な医療的な処置を想定しています。

受け入れ室は、医療的ケアを行うための専用の部屋で、ベッドや手洗い設備のほか、医療的ケアに必要な備品を配置するとともに、災害時においても医療的ケアを継続できるよう、非常用ポータブル電源を配備することとしています。

**長浜高校生徒応援事業補助金の事業成果について**

**問** 長浜高校生徒応援事業補助金は、通学困難な生徒に対し、側面的に生徒の進学を支援する制度であるが、この補助事業の成果について見解を伺いたい。

**答** 現在の補助金の概要は、県内外から入学した

自宅からの通学が困難と認められる生徒に対し、下宿のため入居する部屋の生活家電整備やその家賃に係る経費の一部を補助するとともに、下宿先に入居する際の諸準備に必要な費用等を、支援団体である長浜高校を応援する会に対して補助するものです。

近年の入学者数で見ると、令和3年度は28名でしたが、令和4年度は57名、5年度が52名、6年度は59名で、令和7年度の入学生においては定員の60名となっています。このことは、補助事業の成果に加えて、水族館部の部員が参加した国立青少年教育振興機構主催の地域探求プログラムにおいて、文部科学大臣賞受賞や第22回高校生・高専生科学技術チャレンジで優秀賞を受賞するなど、全国の舞台上で活躍したことで全国的に知名度が上がったことによるものと考えています。

なお、現在の補助事業実施期間は、令和8年度までとなっていますので、今年度補助事業について見直しを行い、より効果的で持続可能な支援制度を構築していきたいと考えています。

**市道オズメッセ東通り線の整備計画について**

**問** オズメッセ付近の周辺道路は、連日多くの買物客で混雑しており、周辺道路の整備を求める地域住民の声が高まっているが、市道オズメッセ東通り線の整備計画について伺いたい。

**答** 現在、東大洲地区における国道56号の渋滞緩和を目的とした道路網の整備に取り組んでいるところであり、市道オズメッセ東通り線についても、その一つとして整備することとしています。

区間はオズメッセ東側の国道56号バイパス交差点から大洲記念病院方向に市道弁天田野々線と市道大洲徳森線の合流点までを結ぶもので、道路延長は約380メートル、道路幅員11メートルで、2車線、片歩道の計画としています。

事業計画に関する地元説明会及び国、県、NEXCO西日本など関係機関との協議は、令和6年度に終了しており、現在、道路の測量設計を実施しているところです。

今後は道路の測量設計に引き続き、橋梁の予備設計を行い、令和8年度は橋梁詳細設計及び用地測量を実施、令和9年度から用地買収を行い、令和13年度の工事完了を目指しています。